

令和5年度
(2023年度)

市議会事務局の取り組み

<部長の方針・考え方>

- ①本会議、委員会等の円滑な議事運営を期する。
- ②市議会の行政監視機能等が十分に発揮できるよう、適正かつ迅速に対応する。
- ③庁内外の各種研修を積極的に活用するなど、人材育成に取り組むことで、事務局全体の機能強化を図る。

重点的な取り組み：本会議、委員会等の適正な運営

本会議、常任・特別委員会、委員協議会その他の会議の運営が公正・円滑・活発に行われるよう、きめ細かな調整と迅速な準備を進め、議会全体の更なる機能強化と活性化に取り組みます。

具体的には、通年議会を導入している本会議の運営をはじめ、所管事務調査等に取り組む常任委員会活動に積極的に関わるとともに、社会情勢やニーズに応じた効果的な議員研修を実施するため、先進事例や講師の情報などを集約し、議員の意向等を踏まえながら調査・研究を進めます。

なお、4月の市議会議員改選後の議会運営を円滑に進められるよう、全議員を対象とした議員総会のほか、新議員を対象とした説明会や研修会を速やかに実施します。

また、昨年度より編集・校正作業を行っている議会の運営根拠や先例等について掲載した、例規解説集（十訂版）を発行し、改選後の議員等へ配付します。

実績	<ol style="list-style-type: none">① 本会議等をはじめとする諸会議の実施。 　　<開会議会1回、定例月議会4回、緊急議会1回>② 常任委員会で所管事務調査を実施。　　<計6回>③ 常任委員会で先進都市研修を実施。　　<計8都市>④ 議員研修会への参加。<2回>⑤ 例規解説集（十訂版）の発行。
説明	<ol style="list-style-type: none">① 開会議会、各定例月議会や緊急議会の本会議をはじめ、予算特別委員会、決算特別委員会や定例月議会前の委員協議会その他の会議を円滑に開催しました。 　　なお、閉会議会は開かれず、自然閉会となりました。② 総務常任委員会が「本市スポーツ施策の現状について」（計1回）を、教育子育て常任委員会が「不登校について」（計2回）及び「通級指導教室について」（計1回）を、市民福祉常任委員会が「認知症の取組について」（計1回）を、建設環境常任委員会が「公園の在り方について」（計1回）をテーマに所管事務調査（委員協議会形式）を行いました。また、教育子育て常任委員会では、こうした調査結果等を踏まえ、教育委員会へ不登校支援に係る意見一覧を提供しました（令和6年4月）。③ 4常任委員会において、5年ぶりに先進都市研修が全面実施され、計8都市へ委員が派遣されました。

	<p>上記①から③について、円滑な運営が行われるよう、引き続き事務局としての確なサポートを行っていきます。</p> <p>④ 11月の大阪府市議会議長会主催の議員研修会「脳を知り、脳を育み、脳を鍛える」に30人の議員が参加しました。また、2月の河北市議会議長会主催の議員研修会「最近の水害の変化と防災」に27人の議員が参加しました。</p> <p>⑤ 議会の運営根拠や先例等を掲載した例規解説集（十訂版）を令和5年5月に発行しました。</p>
--	---

重点的な取り組み：ICT化の推進

令和2年度からタブレット端末および文書共有会議システムを導入し、試行運用として会議資料や議員配付文書の電子化、その後も段階的に会議資料の電子化を推し進めることで更なるペーパーレス化に取り組み、令和4年3月定例月議会から本格運用に移行しました。

今年度においては、本格運用の検証に基づく課題整理を行いながら、ペーパーレス化による効率的な会議運営をさらに進めます。

また、令和5年12月に文書共有会議システムの賃貸借契約が満了を迎えるため、これまでの検証を行うとともに、次期システム導入に向けて選定作業に取り組みます。

さらに、昨年度にオンライン委員会を複数回開催したことを踏まえ、今年度においては、さらに円滑な運用が図れるよう、実施内容の課題整理に取り組みます。

また、ポストコロナを見据えた会議運営の在り方を検討していきます。

実績	<p>① オンラインによる一般質問実施に係る会議規則改正。</p> <p>② 一般質問の時間表示を実施する旨の確認。</p> <p>③ 文書共有会議システム賃貸借契約の更新。</p>
説明	<p>① 議会改革懇話会での議論を受けて、オンラインによる一般質問の実施が可能となるよう、会議規則の整備を行いました。</p> <p>② 議会改革懇話会において、一般質問に係る時間表示を実施する方向性を確認しました。</p> <p>③ これまでの検証及び各党派等からの意見を踏まえ、次期システムの選定に取り組み、契約更新を行いました。</p>

重点的な取り組み：大規模災害等発生時における活動支援の強化

地震や台風など大規模災害等発生時における、災害対策本部と連携し、議員の災害対策活動を支援するとともに、「市議会災害対策連絡会議」のオンライン形式での実施や、「緊急議会」などにおいて迅速かつ適切な対応ができるよう、枚方市議会業務継続計画（BCP）の発動を前提とした安否確認訓練、災害時避難行動訓練の実施や想定される議案の調査・研究に努め、対応行動の習得を図ります。

実績	<p>① 議場における災害時対応行動訓練を実施。</p> <p>② 災害対策連絡会議訓練の実施。</p>
-----------	--

説 明	<p>① 令和5年6月29日に、議場における災害時対応行動訓練として、議員及び出席理事者を対象に、本会議中に地震が発生した場合を想定し、議場及び庁舎が停電する中、緊急地震速報メール等の効果音も活用し、本会議を休憩して身を守る行動を実践するほか、避難経路を確保の上で、議場からの避難、誘導までの行動を確認しました。</p> <p>今後も、枚方市議会業務継続計画（BCP）に基づき、災害時の対応行動が取れるよう十分な習得を図ります。</p> <p>② 令和6年1月12日に、市議会議員の安否確認を行う災害対策連絡会議訓練を実施しました。地震と水害の複合災害を想定した市の災害対策本部訓練に合わせ、市役所に参集できない場合を想定し、オンライン形式により、議長の指揮のもと、各派代表者との情報共有を行い、その後、対面により、訓練の振り返りや今後の訓練方法等の協議を行いました。</p> <p>今後も、発災時において速やかに安否確認や情報共有が行えるよう、定期的に訓練を実施し、議会及び議員等が迅速かつ適切に災害対応を行えるよう努めます。</p>
------------	--

重点的な取り組み：市民にわかりやすい情報発信

議会活動に関する情報発信については、現在実施している以下の手法を継続して行います。

- 枚方市議会報、点字議会報及び声の議会報の発行
- 一般質問・代表質問及び議案審議のインターネットによる生中継と、録画映像の配信
- 会議録の発行及びインターネット上における会議録検索システムの運用
- ホームページやツイッターによる情報発信（会議日程、審議結果等）など

令和3年度議会改革懇話会最終報告書の内容を踏まえ、昨年6月よりホームページに議案書や委員協議会等の資料を掲載する取り組みを開始したところですが、今後は、市民ニーズを踏まえた分かりやすい情報発信として、本市の手話通訳等に関する取り組みにも注視しながら、本会議場での字幕表示による情報発信ツールの調査・研究を進めます。

また、議会報については、市民に親しみを持って読んでもらうことを狙いとして、読者からいただいた感想や意見を基に、実現可能なものは積極的に紙面に取り入れており、今後も掲載内容の改革について検討を進めていきます。

昨年度に新企画として取り組んだ市議会議員が出演するプロモーション動画についても、企画内容等の充実を図るなど、より幅広い世代に議会に親しんでもらうツールとして作成に取り組んでいきます。

実 績	<p>① 市民ニーズを反映した議会報の発行。</p> <p>② プロモーション動画の制作。</p>
説 明	<p>① 議会報に掲載する質疑等について、記事構成を発言の時系列に沿うよう変更したことで、より分かりやすい紙面となりました。</p> <p>② 改選期に合わせ、議員の人となりが見える議員全員の自己紹介動画を</p>

	<p>制作しました。また、市長の所信表明に対する会派等の意見を伝える動画も制作しました。</p> <p>市民の意見を踏まえた議会報の紙面改革や上記②等の情報発信の取組が評価され、地方自治体の議会、首長、市民等による地域の民主主義向上に資する取組を表彰するマニフェスト大賞において、優秀躍進賞を受賞しました。今後も議会報の紙面改革に努めるとともに、プロモーション動画の制作にも精力的に取り組めます。</p>
--	--